

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

評価項目	評価視点	評価区分
1 施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	優
2 利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	良
3 施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	優
4 情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5 災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6 地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	優

【所管課の総合評価】

令和元年度は、消費税増税による経費の増大、自動販売機の撤去による収益の減少、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う貸館停止による施設使用料収入の減少など、厳しい状況の中で、利用者の利便性を損なうことのないよう努力していると認められる。また、年度途中で公共施設予約システムが新しいシステムに変わったが、積極的に新システムの使い方を学び、利用者の利便性を損なうことのないよう努めている。

施設の維持管理をするうえで必要な日常的な施設内外の点検業務や清掃業務を実施し、利用者の快適で安全な施設の利用に尽力している。また、近年は施設の老朽化が進む中で、修繕を要する箇所を早期に発見し解決するよう努めている。

会員のすべてが女性ということもあり、利用者への対応も丁寧で親しみやすい。社会奉仕団体の特性を生かし、地域のコミュニティの場を設け、地域の絆を強めることにも貢献している。このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされている。

【委員会の意見】

令和2年7月13日開催 令和2年度第1回岐南町指定管理者評価委員会での総評

協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされていると認められ、所管課の評価を基本的に承認する。南町民センターならではの、春のお茶会では、近隣の園児を招いてお茶会をしたり、地域住民と密接にかかわっての認知症防止のための「脳トレ」や「勉強会」を行っていたり、長年、指定管理を続けられている経験が、施設の中のきめ細かい点検や利用者への心配りにあらわれていることを高く評価している。令和元年度3月期においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために貸館が、停止したことにより、新たなる試みで令和2年度に向けての活動の展開を工夫されているところも評価できる。